

滋賀県レイカディア大学 同窓会

甲賀・湖南支部だより

第18号 H28年3月1日発行 発行責任者 レイカディア大学同窓会 甲賀・湖南支部 支部長 橋本 元夫

【主な内容】

巻頭言

雑感 高齢者の愚痴 園芸 29期 藤橋 克己(P2)

活動記録

私のボランティア活動 地文 31期 平田 尚士(P3)

お伊勢さん初詣 地文 31期 森井 幸三(P4)

ボランティア活動本格スタート 園芸 23期 橋本 元夫(P5)

同好会活動

グラウンドゴルフ同好会の報告 スポ 22期 木田 勝彦(P6)

支部からのお知らせ

琵琶湖周航の歌・歌詞ロマンを聴講 園芸 23期 橋本 元夫(P7)

第2回グラウンドゴルフ大会 生活 31期 奥本 静子(P8)

支部からのお知らせ 陶芸 28期 植西 偉文(P8)

みんなの広場

世界文化遺産 軍艦島を訪ねて 生活 31期 奥本 静子(P8)

JR四国の観光列車『伊予灘ものがたり』 園芸 34期 北阪 佳央(P9)

編集後記 園芸 33期 高田 信男(P11)



世界文化遺産 軍艦島 31期生活 奥本さん撮影

巻頭言

雑感 高齢者の愚痴

園芸 29期 藤橋克己

年老いて、いつまで生きる。先が見えず、また、知らされず後期高齢者という名を頂き喜んでよいのやら、悲しんでよいのやら、いつまで己の様を見ていくのか解らない人生を、一步一步と前にもみ進む我が姿、かつてに來る年、節分に食べた豆の数、腹を壊すかと思う程食ったかなあ。

自然の中で生を受け、働くだけ働き社会に貢献してきた心算で退職して数年がたち、先輩達に教えていただいたレイカディア大学、好きでやっていた庭木いじりの勉強がしたいなあと思っていた時申込み、平成18年10月第29期生園芸学科に入学できて2年間、木についての学習、実習、作物についての勉強、無事に思いのままの終了から今日まで、シルバー人材センターへの入会もあり、庭木の剪定、自家菜園での農作業等々を続けながらの他人様の庭に、会社の樹木の手入れに老いたる身にむちを打ちながら毎日を送っている一人の老人高齢者です。学ぶことの楽しさ、自分で画く樹型、樹のもり、今はある資格取得のため一日も早くと思えども気と身が一致してくれないのが歯痒いです。29期生28名は男が25名と女子3名のクラスでしたが早1名が遠く離れていってしまったが「ふくの会(29期をもじって)」と名付けられた仲間同期生は、毎月のグラウンドゴルフ、草笛の練習、テニスの練習等々の合間に剪定花壇造りにと英気を養う場を持ち、年数回の懇親会に80%以上の参加で楽しい仲間27名がいます。

同窓会って何なのでしょう。何か一つの殻の中に蠢く知らない仲間達ではないだろうか。何か知らない知り尽くした数人の方々が話し合っていて、下にいる者は何のことははっきりしない会合に出て、議題が明瞭でない話題にただ聞いているだけ、マンネリ化している事柄が多く、ただ去年のことを繰り返しているだけの会になり、困った、困ったと言う会が同窓会なのかなあと思うようになってきた自分は「退会したい」という頭があるが近隣の仲間後期高齢者の会員のことを思えばやめられない困ったことです。意欲が湧いてこない様な感じる会、改革、改革といいながらも出来ない現状にあります。

何故かなあ、新しい感性と意気込みを持ち「なんとか」の精神を、また、老人の学習をする場を卒業し、学んだこと技を発揮できる場の開拓を続け、希望と大揚を求め、持ち続け、明日に向かって歩いていける後期高齢者になりたいと思う自分の一時の愚痴と雑感をメモります。小さな声で頑張ります。



希望と大揚

私のボランティア活動

地文 31期 平田 尚士

レイ大を卒業して地域貢献を目指し下記活動をしています。
何かご参考になればと思い報告させていただきます。

＜湖南省レイ大OB・現役生と共に＞ レイカディア大学のPRに！

① 湖南省レイ大交流会 会長職 会員58名

主な活動

イ) 中央森北公園の剪定作業 年 10回

ロ) ボランティア祭りの支援 11月

ハ) ゴーヤカーテンプロジェクト参加

ニ) フェスティバルの実施 年 1回

＜趣味を生かして＞ ギターを弾いています

① 楽団わいわい 高齢者・自治会等へ出前演奏

② アロハ・レア ハワイアンバンド 滋賀県全域

③ 歌声喫茶 月2回 定期開催 30名程度

＜体育館事業への参加＞ 総合体育館にて

① 湖南省ちよいスポクラブ 副会長として企画実践で参加
会員約200名



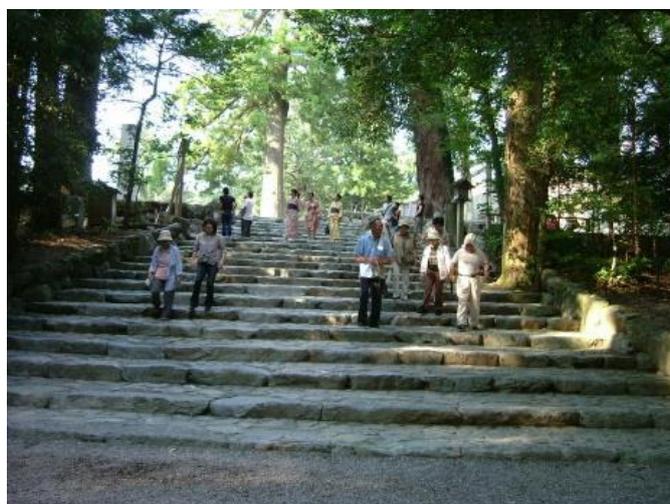
お伊勢さん初詣

地文 31期 森井 幸三

1月12日伊勢神宮へ地区の皆さんとともに初詣に出かけました。これは甲賀市内神社の恒例行事で、市内各神社の氏子達が4日間に分かれて参拝します。バスガイドの話では4日間とも毎日約10台程度のバスが出ているとのこと。私の地区でも毎年参拝されているのですが、宮守になったのを機に、今年で三回目の参拝となりました。私どもの乗ったバスには、私の地区からの15名と他地区の人30数人で座席はすべて埋まっていました。役員さんは一升瓶を抱えての乗車ですが、お伊勢さん参拝までは飲酒はダメとのことでお預け状態・・・。途中の休憩所で他バスの人達を見ると、皆さんほんのりと赤ら顔。「お酒と違うで。御神酒はいいのや」との酒飲みの屁理屈。それでも私どものバスでは他バスの酔っ払いを横目に参拝終了まで飲酒はありませんでした。



外宮に到着したのですが、バスが多すぎて駐車場に入れず。連休明けの平日だというのに参拝客の多さには吃驚しました。「この分では内宮はもっと多くの参拝客でごった返しているはず。正面参拝所までたどり着くのに時間がかかるかも」とのガイドの説明でした。内宮についてみると思ったほどではなく、すんなりと正面までたどり着くことができ何やら拍子抜け。それなりの賽銭を入れて厚かましい願掛けをすますことが出来ました。



早々に参拝を済ませてお役御免とのことで、おかげ横丁を散策。全体的に人が少ない日とは言うものの通りは混雑状態。人を掻き分け先ずは造り酒屋に直行してマス酒をいっぱい。つづいて他の造り酒屋でもう一杯。昼飯前のすきっ腹に美味しい冷酒をいただきました。周りを見るとなじみの酒飲みの顔がちらほら。レイ大甲賀同窓会の仲間にも何人か出会い、お互いほろ酔いで挨拶しながらの散策でした。



昼食は二見が浦に場所を移して約300名が

一堂に会して食事。一齐に鍋に火がつけられてものすごい熱気の中、酒を酌み交わしながら持ち込んだ一升瓶も何本かはすぐ空の状態。他地区からも知り合いが何人か参拝しており、酒が入っての談笑で楽しいひと時でした。帰りはバス内で爆睡状態。

お伊勢さん参拝が、一年間の活力源になったような気分でした。これからも健康の許す限り参拝を続けていきたいと思っています。



一支部ボランティア活動・本格実施スタートー

支部長 橋本 元夫

2月3日水口中央公民館で、ボランティア活動実務検討会が開催され、活動分野・時期・頻度など希望者の個別確認と出勤依頼の方法等について話し合いました。また関連する行政機関等への名簿提出の了解も得ました。

今後の進め方については、希望者の条件等の一覧表を、各町の社会福祉協議会と甲南町のボランティアセンターに登録し、該当するボランティア活動の申し込みがあれば、個別にセンター等から個人へ電話連絡があり、条件が合えば、指定されたところに実務として出勤して頂くことになります。

3月中に準備を完了し28年4月1日から本格実施の運びとなります。

昨年からアンケート2回 懇話会等3回の会議を開催、この間皆さんの絶大なるご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

今後もボランティア懇話会等を開催し継続して活動が進展するよう取り組んでまいりますので皆様の変わらぬご支援を切にお願い申し上げます。



グラウンド・ゴルフ同好会の報告

スポ22期 木田 勝彦

各地を車で走っていますと、各地の河川敷や公園の広場等にグラウンド・ゴルフの旗が立っているのが見受けられます。同好会も甲賀・湖南市に点在して常設されている会場を廻り会員の交流を深めています。

各地先の会員のみなさんのお世話になり、寒風に吹かれたり、花吹雪を頭に載せたり、炎下で汗を一杯かきながら元気に、楽しいひと時を過ごしています。

現在26名の会員で年に6回行事を計画しています。開催日に都合の付く方が集まろうと決めており、その日に都合が付けば参加というように運営をしており、大会の都度の参加者は8名～15名です。

同窓会の会員の方でグラウンド・ゴルフの経験のない方も是非皆さんと楽しいひと時を過ごしませんか。

{平成27年度 活動報告}

第1回	H27.	4.	14	水口・野洲川GG場	参加人員	8名
第2回	H27.	6.	16	甲南・柚川GG場	同じ	14名
第3回	H27.	7.	4	土山・青土GG場	同じ	12名
第4回	H27.	10.	22	湖南市・親水GG場	同じ	14名
第5回	H27.	11.	30	甲南・柚川GG場	同じ	15名
第6回	H28.	2.	18	水口・野洲川GG場	同じ	10名

グラウンド・ゴルフ同好会 入会希望の方は

年会費 500円

申し込先 木田 勝彦

甲賀市水口町三大寺11 Tel. 0748-62-4059

氏名・住所・卒業学科・期 電話番号 を記載ください。



レイカディア大学講座

『琵琶湖周航の歌の歌詞ロマン』を聴講して

講師 NHK京都センター 飯田忠義 先生

園芸 23期 橋本 元夫

2月5日草津校で例年実施されている本部事業の聴講講座に参加しました。その概要の一端を紹介します。

滋賀の歌と云えば誰でも思い出すのが「琵琶湖周航歌」であります。学校でも職場の宴会でも数え切れないほど歌って来た最も身近な歌です。

この歌は大正7年7月に京都第3高等学校ボート部が琵琶湖周航中に作者小口太郎が仲間に発表したところ、その当時歌われていた「ひつじぐさ」のリズムを付けて歌うとぴったりと合い、それから寮歌として 大衆歌として大変多くの人に歌われるようになりました。昭和46年ごろまでは、作詞作曲小口太郎として世の中に通っていましたが、いろんな人が調査し、また文献を紐解いていくと「ひつじぐさ」の作曲者が吉田千秋氏であることが平成5年に判明しました。

小口太郎は明治30年8月30日に生まれ大正13年5月16日に死亡しています。原曲の作曲者吉田千秋は明治28年2月8日に生まれ大正8年2月24日に死亡しています。共に稀にみる天才であったが、小口は26歳で自殺 吉田は結核で24歳の短い人生を終えました。2人は一度も面識がなく今日このように皆が歌い世の中に出ていることは全く知る由もありませんでした。

小口は、この作詞に「奈良の都」の曲をつけたいと思っていたともいわれています。また吉田千秋は熱烈なクリスチャンで讃美歌の作曲家でもあり、特に2番3番の曲を聞いてみるとまさしく讃美歌である感じがします。

当時 恋愛をしたくても大ぴらには出来ない時代であり、歌詞の中に「はかない恋に・・・」とあり、歌なら遠慮なく歌えることから、女子に大変もてたとされています。

琵琶湖には歌碑が6か所7個(長命寺2個)もあり、このように多くあるのは日本中でこの歌だけとされています。

皆さん一度ネットで検索してみてはいかがでしょうか。多くのことが学べます。



第2回グラウンドゴルフ大会開催

生活 31期 奥本 静子

12月2日 心配していた天候もなんのその、師走にはいったというのに青空が広がり穏やかな陽気は小春日和そのものでした。

野洲川河川敷にある細長い難コースの会場で、23名が闘志満々！ホールインワンに挙がるどよめき、OBに悔しがる溜息、そして笑い、弱者への励まし等など・・・

16ホールを2回廻り、程良い疲れをコーヒーで癒す。

上位成績者は次の通りです。

優勝者	木田勝彦	スコア	82
2位	奥本静子	:	83
3位	木下美恵子	:	84

参加者の皆様ご苦勞様でした。



支部からの連絡事項

副支部長 植西 偉文

当面の行事予定は、次のとおりです。

1. 支部三役会議:2月25日(木):水口中央公民館
2. 第7回理事会:3月25日(金);つるや(甲南町)
3. H28年度甲賀・湖南支部定期総会:4月22日(金):水口中央公民館
4. レイ大本部定期総会:5月26日(木): 県立長寿社会福祉センター



世界文化遺産 軍艦島を訪ねて

生活 31期 奥本 静子

昨年7月世界文化遺産に登録された軍艦島は、長崎港から南西19kmの海上に浮かぶ孤島「端島」の通称で、島の外観が軍艦「土佐」に似ている事から名付けられました。

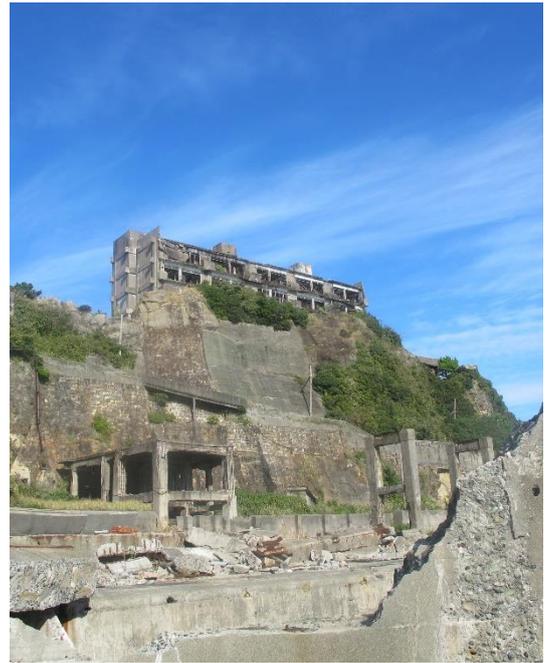
島の周囲は波が荒く観光船の三分の一は島に上がれないという観光業者の苦悩がありました。当日は晴天に恵まれ、上陸出来た事に感謝！青い海原の中に浮



ぶ島は倒壊した建物の瓦礫の山、栄華の昔を偲せるに充分。明治23年、石炭の需要に伴い三菱合資会社の経営に依って、主として八幡製鉄所向け製鉄用の原料炭を供給し近代文化を支えて来ました。

当初、草木のない水成岩の瀬は採掘技術の発達と共に島の周辺を埋め立てながら護岸堤防の拡張の繰り返し現在の形状になりました。昭和49年の閉山迄1570tもの石炭が採掘され、その作業は海面下1km以上の地点まで延びました。炭鉱の開発に伴い従業員の為の住宅建設が盛んに行われ、大正5年以降高層鉄筋アパートが島内に林立し、学校や病院、郵便局、商店の他、映画館、パチンコ店等の娯楽施設等も揃いました。

危険を伴う炭鉱員の拠り所として、寺・神社の設立、全島あげてのお祭りで賑わいました。その頃、私達の家庭では手の届かなかった三種の神器テレビ・冷蔵庫・洗濯機がいち早くどの家庭でも導入されていた様です。高級職員用アパート以外に室内風呂はなく、海水を沸かした共同風呂は真っ黒な湯で上り湯しか真水は使えませんでした。南北に430m東西に160m周囲1200m面積6300㎡という島に5300人もの方が住んでいたようです。岸壁が島全体を囲い高層アパートが立ち並ぶその外観は雄大で戦いに挑む軍艦そっくりだと納得し、日本の近代化を支えた炭鉱夫達に心を馳せたことでした。(軍艦島全景写真は表紙にあります)



JR四国の観光列車『伊予灘ものがたり』

園芸 34期 北阪 佳央

1月に四国松山・高知を旅した。ここで感動したのがJR四国の観光列車「伊予灘ものがたり」。

我々が乗車したのは、「八幡浜編」で松山 13:28 分発、八幡浜 15:52 着、この間およそ62kmをおよそ2時間半かけてゆっくりのんびり、四国愛媛の美しい海・伊予灘沿いを走るレトロでモダンな列車である。

気動車の2両編成で平成26年に改造とある。1号車は伊予灘の夕日を連想した茜色、2号車は太陽と柑橘類の輝きの黄金色で新たな感動が生まれる。





車内のレイアウトは伊予灘の絶景を望む海向きシート7席、食事を楽しみながら歓談できる4名のボックスシート8席、海と反対側の2名対面シート10席の計25名の定員、2両で50名が乗車できる。その他の設備は、ダイニングカウンタ、洋式トイレと砥部焼きを使った洗面台、運転室の後ろにはレトロな装飾品が設置されており豪華さを感じる。海向シート後ろの手すり、車椅子スペースの確保と車椅子固定金具等安全面にも配慮された車両である。

車内の食事に感動する。

松山駅を出発後、しばらくするとアテンダントさんが弁当を配膳してくれる。内子杉で製作された特性御重で、和洋折衷料理である。ビールを飲みながら「うまい！」の連発、食後のデザートがまた楽しい。



アテンダントさんの礼儀ある振る舞いには和みがある。食後に「伊予灘ものがたり」と大書したパネルで記念撮影に応じてくれた。



地域あげてのおもてなしにまたまた感動する。松山駅出発時は、駅員さん



はもちろん、ヘルメットをかぶった他のスタッフの方も手を振ってのお見送り。沿線ではガソリンスタンドの係員さん、学生さん、通りかかっている人皆さんが手を振ってくれる。途中駅では鬼、狸の被り物をつけた駅員さんの歓迎、伊予大洲城からは何人ものがぼり旗を高々と上げてくれている。駅名を記憶していないが、きれいな、いっぱいの花壇、恋人同士が座ると寄り添える魔法のベンチ等各所で工夫を凝らした地域あげての歓迎ぶりでした。

鉄道好きの私でなくても、また乗りたくなると思う旅でした。

編集後記

園芸 33期 高田 信男

今年は申年、いやなことは去るといわれながら年初から出来事が多すぎます。

株価の暴落と円高は、中国経済の減速、石油安、欧州の金融不安等原因はいろいろあるのですがマイナス金利には驚きます。北朝鮮の原爆実験・ミサイル発射、歯舞を読めない大臣、大臣・議員の辞任にも、びっくりポン、清原選手には野球ファンでなくてもがっかり。しかしアインシュタインの予言、重力波の測定成功は将来のノーベル賞もの！大相撲で、日本人・琴奨菊の10年ぶりの優勝はあっぱれ！



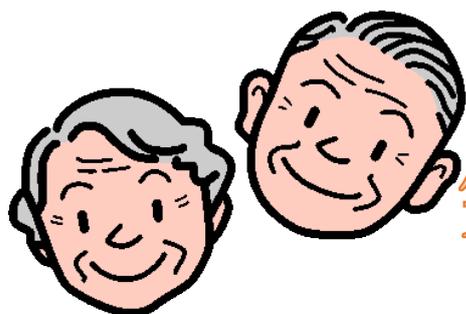
今回も多くの原稿ありがとうございました。例月より早く原稿締切を2月10日にさせてもらったので、広報部の方にもご苦勞おかけしました。そのためか、みんなの広場欄の詩俳句・随筆等が無しとなってしまいました。今後とも多くの投稿をお待ちしております。

限られた予算の中で、広報紙を全面外注は困難で、手作り広報に取組んできました。輪転機で印刷すると写真が真っ黒になってしまい、会員の皆様にも、寄稿された方にも申し訳なく気がかりなことでした。

この度、甲賀市のボランティアセンタの印刷機を借りて試行しましたところ、少し割高になりますが本号から少しは状態がよくなると期待しています。

この2年間、延べ8回の広報をお届けすることになりますが、どのようにご覧頂いているでしょうか。会員各位のご意見等次期総会にお聞かせいただければと存じます。

なお、既にご承知と思いますが、レイカディア大学同窓会のホームページの甲賀支部欄に、これまでの延べ7回分の支部だよりがカラーでご覧いただけるようになっておりますのでご利用ください。



笑顔が元気の源

